令和８年度第１回弘前市まちづくり１％システム審査委員会
会議録概要（１日目）

日　時：令和８年６月１１日（木）
午後６時～７時５５分
場　所：市役所市民防災館３階　防災会議室

１　出席者

審査委員　土井委員長、大倉委員、安田委員、相馬委員、小山内委員、伊藤委員、
佐藤（信）委員、斎藤（明）委員、小向委員、大湯委員、一條委員、
佐藤（綾）委員、工藤委員

事務局　對馬課長、山﨑課長補佐、佐藤主幹兼協働推進係長、三上総括主査、工藤主査、
吉田主事、山内主事、齊藤主事

２　審査方法

（１）一般部門

１事業ごとに申請書類及び公開プレゼンテーションの内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに１人１００点満点（１０項目×１０点）で採点を行う。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

【補助金の交付決定を受けた回数が０～２回】
採択 …次のすべてを満たすもの
①出席委員の合計の平均点が６０点以上
②出席委員の各審査項目の平均点が３点以上

【補助金の交付決定を受けた回数が３回以上】
採択 …次のすべてを満たすもの
①出席委員の合計の平均点が６０点以上
②出席委員の「公益性」、「将来性」、「費用の妥当性」の審査項目の平均点が６点以上
③出席委員の「必要性」、「実現性」の審査項目の平均点が３点以上

（２）スタート部門

１事業ごとに申請書類の内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに事業の適否を判断する。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

３　審査結果

・一般部門　　１３事業中４事業

採択事業　　４事業

不採択事業　　０事業

※スタート部門　申請なし

《審査内容》
一般部門

事業番号	7	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	みんなでテニス		
団 体 名	弘前市テニス協会		

【主な意見】
・参加者の増加に伴い、指導者側の人員不足が生じないように気を付けて事業を実施していただきたい。
・参加者へのアンケート結果の分析に努めており、企画内容への分析結果の反映もしっかり行われている事業だと思う。
・テニスを通じて健康意識を持つ人や運動する人を増やすという事業目的も中期的に達成しており、企画内容の成長が見られる事業だと思う。

【審査結果】
合計点　77.5 点 ≧60.0 点 ， 各項目の平均点≧3 点　⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	8.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.7
合　　計		77.5

《審査内容》
一般部門

事業番号	１２	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	親子参加型子育てサロン　nijiiro coto		
団 体 名	子育てサロン　nijiiro coto		

【主な意見】
・他の団体に比べて講師への謝礼が低額であることや、１％システムの採択団体で活躍している方を講師に招いていることから、団体と講師とのつながりで成り立っている事業だと感じた。色々な能力のある方を活用されていて、上手な方法であると思う。
・事業目的である親子や母親の居場所づくりという面にプラスして、市民がボランティア活動を行う場という側面もあると思う。無償のボランティアが集まる条件としては、参加することによって自分も楽しかったり、やりがいを感じるといったその事業の内容自体が良くないと駄目なので、そういう点ではすごく良いと感じた。全体として色々な面で団体のメンバーや、人の動きがしっかり見えるような企画で良いと思う。

【審査結果】
合計点　79.7 点 ≧60.0 点 ， 各項目の平均点≧3 点　⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	①　事業の効果が特定の者に限定されない	7.7
	②　社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③　地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④　地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.2
実現性	⑤　事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥　提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.8
将来性	⑦　事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	8.0
	⑧　将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨　予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.3
	⑩　市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合　　計		79.7

《審査内容》
一般部門

事業番号	４	審査区分	交付決定回数３回以上の事業
事 業 名	消費者教育講座「親子で楽しく遊ぼう！『きみとタノシーの一日すごろく』」		
団 体 名	Kirschbaum（キルシュバウム）		

【主な意見】
・学生ボランティアについて、ポスターやチラシなどの一般的な募集では集まりにくいと思うので、昨年どういう人が集まったかというところを参考にしたり、教育学部へ入学を志望している事業内容との親和性の高い中高生のもとに直接出向くなど、アプローチ方法の工夫を行うと良いと思う。
・学生ボランティアに対して、ファシリテーターとしての役割の理解を深める機会を設けるとともに、高校生の参加と成長のため、より消費者教育に生かすことができる実施形態にすると良いと思う。
・基本的には１回体験して終わりになっているすごろく体験のやり方の形態を変えるなど、社会の変化などに応じて、取り扱う題材やすごろく以外の教材、保護者側の視点の組み込みや講座の開催頻度などについて拡充を図っていただきたい。

【審査結果】
合計点　73.7 点 ≧60.0 点 ，【必要性】【実現性】の各項目の平均点≧3 点 ，
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≧6 点 ⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.7
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.1
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.9
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.1
合 計		73.7

《審査内容》
一般部門

事業番号	１０	審査区分	交付決定回数３回以上の事業
事 業 名	みんなのウォークラリー大会 城下町 弘前らしさ を見つけながら歩こう！		
団 体 名	特定非営利活動法人　ひろさきレクリエーション協会		

【主な意見】
・この事業はすごく健康にも良いし、まちのことを学べてすごく魅力的なのに、思いの外参加者が少ないというのが毎年の感想である。団体の構成員が他団体に講師として参加して宣伝をしていたが、そういった方法は効果的だと思うので、使えるような方法は色々使って取り組んでいっていただきたい。
・働き盛りの方の運動不足解消のため、福利厚生の一環で企業が団体で参加できる仕組みなどがあれば良いと思う。
・参加者がどんどん減ってしまうと、どんなに団体が自負の気持ちを持っていても、結果として市民があまり受け入れていないと捉えるしかなくなってしまうと思う。参加者が何を本当に欲しているのかを知るための柔軟な発想でのアンケートの実施や、逆にターゲットを絞って参加者を引き入れるなど、もう少しやり方を変えていく必要もあるのではないかと感じた。

【審査結果】
合計点　70.8 点 ≧60.0 点 ，【必要性】【実現性】の各項目の平均点≧3 点 ，
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≧6 点 ⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	①　事業の効果が特定の者に限定されない	7.2
	②　社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.1
必要性	③　地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.9
	④　地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.6
実現性	⑤　事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.2
	⑥　提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.5
将来性	⑦　事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	6.9
	⑧　将来的に広く波及効果が期待できる	7.1
費用の妥当性	⑨　予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.4
	⑩　市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.8
合　　計		70.8

令和８年度第１回弘前市まちづくり１％システム審査委員会
会議録概要（２日目）

日　時：令和８年６月１２日（金）
午後６時～７時５５分
場　所：市役所市民防災館３階　防災会議室

１　出席者

審査委員　土井委員長、大倉委員、安田委員、相馬委員、小山内委員、秋元委員、伊藤委員、佐藤（信）委員、齋藤（夢）委員、小向委員、大湯委員、一條委員、佐藤（綾）委員

事務局　對馬課長、山﨑課長補佐、佐藤主幹兼協働推進係長、三上総括主査、工藤主査、吉田主事、山内主事、齊藤主事

２　審査方法

１日目同様

３　審査結果

・一般部門　　１３事業中４事業
採択事業　　４事業
不採択事業　　０事業

※スタート部門　申請なし

《審査内容》
一般部門

事業番号	２	審査区分	交付決定回数３回以上の事業
事 業 名	岩木山エコプロジェクト		
団 体 名	岩木山観光協会		

【主な意見】
・団体には観光分野に詳しい構成員がいるので、事業を観光分野につなぐことを意識的に行っていただきたい。観光客がこの事業に参加し、そこから参加者が増えていくような循環を期待したい。
・団体の会員名簿には、多くの企業や個人名が載っており、若い人への世代交代も含め、活動を持続させたいという団体の思いが伝わってくるのが素晴らしいと思う。
・ごみ拾いは疲労を伴うので、活動の途中で、樹木や植物の案内をするといった参加者の気晴らしになる時間を設けると良いと思う。
・団体構成員のメディアとのつながりを活用して、テレビなどのメディアを通じて活動を紹介すると、もっと参加者が集まるのではないかと思う。

【審査結果】
合計点　86.5 点 ≧60.0 点 ，【必要性】【実現性】の各項目の平均点≧3 点 ，
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≧6 点 ⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	9.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.7
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	8.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.7
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.7
合　　計		86.5

《審査内容》
一般部門

事業番号	３	審査区分	交付決定回数３回以上の事業
事 業 名	第１２回こぎんフェス		
団 体 名	こぎんフェス実行委員会		

【主な意見】
・会場が主にこぎんフェスを目的とした方が来るような設定であるため、どのチャンネルで情報を入手したのか、こぎんフェスを目的に来たのかなど、参加者の動向をアンケートにてリサーチし、万一今回の参加者が少なくなってしまった場合には、アンケート結果をもとに次年度に向けた改善を検討していただきたい。
・当日は会場近隣の土手町でカルチュアロードやよさこい津軽が開催予定のため、チラシを有償ボランティアの方に土手町で配布してもらうなど、人を呼び寄せる取り組みを行って集客していただきたい。
・正統派のこぎんを守っていくことは大切だが、楽しみながら自由にこぎんを刺している方たちもブームの支え手となっていることから、そのような方たちにも寛容なあり方で全体的にこぎんを盛り上げていただきたい。
・作成したホームページを放置することがマイナスに働くことがないよう、将来的に団体で更新できるような体制の構築を検討していただきたい。また、やむを得ず放置する場合は、最低限として今年の活動の様子を掲載し、できれば来年の開催予定なども掲載できればなお良いと思う。

【審査結果】
合計点　77.2 点 ≧60.0 点 ，【必要性】【実現性】の各項目の平均点≧3 点 ，
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≧6 点 ⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.5
合　　計		77.2

《審査内容》
一般部門

事業番号	６	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	第４回　日本・台湾友好音楽祭		
団 体 名	弘前市民俗芸能保存連合会		

【主な意見】
・国際間の交流は、市民にとってすごく有意義な活動であるため、もっと出演者と交流する時間を確保してほしい。
・単発のイベントで終わるのではなく、継続して台湾の文化を市民に発信していくことが大切なテーマだと思うので、色々な仕掛けや工夫に期待したい。
・この事業を活用して、一層弘前市と台湾のつながりを深めるような取り組みをしてほしい。
・月琴の音楽プラスアルファの部分を交流につなげるような取り組みに期待したい。
・台湾から来て演奏やワークショップを行っていただく方々の宿泊費などの費用が全額自己負担であるため、一部補助してあげるという意味合いで、入場料や参加料を徴収しても良いと思う。

【審査結果】
合計点　70.8 点 ≧60.0 点 ， 各項目の平均点≧3 点　⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	①　事業の効果が特定の者に限定されない	7.2
	②　社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.8
必要性	③　地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.8
	④　地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.9
実現性	⑤　事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.9
	⑥　提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.7
将来性	⑦　事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.4
	⑧　将来的に広く波及効果が期待できる	7.5
費用の妥当性	⑨　予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.1
	⑩　市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.5
合　　計		70.8

《審査内容》
一般部門

事業番号	５	審査区分	交付決定回数３回以上の事業
事 業 名	「harappa 放課後こども美術室」		
団 体 名	NPO 法人 harappa		

【主な意見】
・運営面で協力していただく方を確保するために、保護者向けアンケートにおいて運営のお手伝いをお願いするような内容も記載すると良いと思う。
・プレゼンでは課題に対しての改善の方向性も示されていたため、今後も少しずつ課題を把握して改善していくというアプローチで進めていただきたい。
・事業のオリジナリティが際立ってきているため、ますますこの先頑張っていただきたいと思う。イタリアのレッジョエミリア教育など他の教育の内容も参考にしつつ、子どもと一緒に来た親も喜ぶような内容で引き込み、親にお手伝いいただくなど、運営の負担を減らしながら効果をあげていただけると今後も上手くつながっていけると感じる。

【審査結果】
合計点　79.2 点 ≧60.0 点 ，【必要性】【実現性】の各項目の平均点≧3 点 ，
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≧6 点 ⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合 計		79.2

令和８年度第１回弘前市まちづくり１％システム審査委員会
会議録概要（３日目）

日　時：令和８年６月１３日（土）
午前９時３０分～１１時４０分
場　所：市役所市民防災館３階　防災会議室

１　出席者

審査委員　土井委員長、大倉委員、安田委員、相馬委員、小山内委員、伊藤委員、
佐藤（信）委員、小向委員、大湯委員、一條委員、佐藤（綾）委員

事務局　　對馬課長、山﨑課長補佐、佐藤主幹兼協働推進係長、三上総括主査、工藤主査、
吉田主事、山内主事、齊藤主事

２　審査方法

１日目同様

３　審査結果

・一般部門　　１３事業中５事業
採択事業　　５事業
不採択事業　　０事業

※スタート部門　申請なし

《審査内容》
一般部門

事業番号	1	審査区分	交付決定回数３回以上の事業
事 業 名	「第６回　小・中・高生ひろさき短歌大会」		
団 体 名	弘前市歌人連盟		

【主な意見】
・「弘前」をテーマに短歌を作ることで、次代を担う子どもたちが、郷土弘前やそこに住む人たち、弘前の歴史や文化を深く観察したり洞察したりする目を磨く機会となり、教育的にも大きな効果があると思う。これからも「弘前」をテーマに続けていっていただきたい。
・子どもたちは自分の思いを短歌に込め、応募してきていると思うので、歌に対し、団体から何か返してあげることができれば、子どもたちも嬉しいのではないか。
・参加校や作品数の増加から、団体の努力もあり、短歌大会が学校現場に受け入れられ、定着していることをとても感じる。
・現代の子どもたちはＡＩを使って創作することにあまり抵抗がないため、出張短歌講座の活動を少しずつ広げていって、子どもたちに直接、創作する楽しみを伝えてほしい。
・学校教育ではない場で子どもたちが自由に表現でき、ＡＩを使える状況ではない場所で自分の感情を素直に表現できる弘前公園吟行会に期待している。吟行会で短歌の作り方や作る際の感覚を伝えることができれば、子どもたちに短歌の楽しさや魅力が受け継がれていくと思う。ただ、ＰＲが少し足りないと思うので、ＰＲの仕方を工夫してほしい。

【審査結果】
合計点　84.4 点 ≧60.0 点 ，【必要性】【実現性】の各項目の平均点≧3 点 ，
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≧6 点 ⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	8.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.9
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.2
合　　計		84.4

《審査内容》
一般部門

事業番号	８	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	不登校の子に関わる保護者、学校関係者、その他へ向けた講演会の開催		
団 体 名	不登校を支える親の会		

【主な意見】
・不登校の子どもたちの心の状態が良くなった時に、次のステップを踏み出すためのサポートとして、子どもたちが動きやすく、やりたいことを実現できるような受け入れ先や相談先となる団体とのネットワークづくりを積極的に行ってほしい。
・オンライン開催による講師、参加者との意見交換や、参加者同士がつながる機会の創出は当事者の励ましになると思う。また、新しい取り組みを行っている学校もあるので、そういった情報などを保護者間で共有していくことができれば、一歩先の未来が見えてくると思うので、上手に運営してほしい。
・学校にチラシがあれば、先生のみならず、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにも情報提供することができるので、今まで以上に手を差し伸べてあげることができると思う。
・学校や先生も一当事者として大変だと思うが、この事業がそれらの救いとなっていると思う。不登校に関しては義務教育のあり方を根本的に変えないといけないという議論に上り詰めないとなかなか前進しないと思うので、その議論を巻き起こすための弘前における一つの活動として継続してほしい。

【審査結果】
合計点　79.6 点 ≧60.0 点 ， 各項目の平均点≧3 点　⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.4
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.4
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.5
合　　計		79.6

《審査内容》
一般部門

事業番号	１３	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	十腰内地区お山参詣実施事業		
団 体 名	十腰内お山の会		

【主な意見】
・他の地域にもお山参詣の重要性を広めたり、子どもたちと一緒に地域全体で盛り上げるためには、地道な活動の継続しかないと思うので、ぜひモデルケースになるよう頑張っていただきたい。
・地域の伝統行事を無くしたくないので、１％補助金がある限りはぜひ使っていただきたい。
・お山参詣の継承に計画的かつ的確に取り組もうとしている真面目な姿勢が見受けられるため、応援したい。
・前回の補助金交付額と比較すると、団体が活動資金を確保しようとする努力もあり、今回の申請額が少なくなっている点が非常に評価できる。

【審査結果】
合計点　83.3 点 ≧60.0 点 ， 各項目の平均点≧3 点　⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	8.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.4
合 計		83.3

《審査内容》
一般部門

事業番号	９	審査区分	交付決定回数３回以上の事業
事 業 名	十面沢お山の会（お山参詣）		
団 体 名	十面沢お山の会		

【主な意見】
・お山参詣はいろいろな地域から参加している事業なので、祭りへの参加費として、バス代などの部分的な経費を徴収することを検討してみるべきだと思う。
・地域をあげて行う行事は、地元の町会や地区が経済的に支援したり応援すると思うので、協力を働きかけてみるべきだと思う。
・裾野小学校で十腰内お山の会と一緒に旗を作り飾るという取り組みが、学校を巻き込んだ新たな展開につながるだけではなく、継続することにより、学校で子どもたちが毎年行う通例の行事となることを期待する。また、本事業に一個人として参加しているが、会費の徴収により参加しないといった考えにはならないので、会費をぜひとも取ってほしいと思う。

【審査結果】
合計点　82.9 点 ≧60.0 点 ，【必要性】【実現性】の各項目の平均点≧3 点 ，
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≧6 点 ⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	8.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合　　計		82.9

《審査内容》

一般部門

事業番号	１１	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	土手町リバイバル		
団 体 名	HHDR（Hirosaki High School Dotemachi Revival）		

【主な意見】

・先輩方が一歩踏み出して、色々な関係を作って築き上げてくれた活動なので、仲間を増やしつつ、街の方々の協力も得ながら、事業を継続してほしい。
・昨年豆腐団子を購入した際に、その場で食べるというよりは、持ち帰っている印象が強かったため、土手町で食べてもらえるような仕掛けを考えてほしい。
・スタンプラリーについて、豆腐団子を購入した人にお願いする方がたくさん参加してくれ、豆腐団子を食べながら土手町を歩くという可能性もあるので、時期的な部分をもう少し検討していただきたい。
・勉強スペースの提供は、街に人を呼ぶきっかけや滞在時間を延ばすという機能はあるが、街を歩いたり、お金を使ってもらうためには、もうひと工夫必要になると思う。勉強のお供になるような、近くで買える食べ物のマップやガイドの提示など、次のアクションに移せるような働きかけをしていただくと、土手町を歩いてもらうという目的に、さらにつながっていくと思う。

【審査結果】

合計点　83.1 点 ≧60.0 点 ， 各項目の平均点≧3 点　⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.4
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	8.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.4
合　　計		83.1